

(様式4)

令和6年度 東小学校英語科特例校の実施状況について

大泉町立東小学校

1 英語科特例校の内容

小学校1・2年生において、「外国語活動」を実施する。

近年、国際化・グローバル化が進んでおり、今後その流れはますます大きくなることが予想される。令和2年度からの新学習指導要領では、3・4年生で「外国語活動」、5・6年生で「外国語科」が新設され、外国語教育の一層の充実を図ることとなっている。そこで、大泉町内の全ての小学校において、特別の教育課程を実施し、早期から英語の学習を始めて英語教育の充実を目指していく。

2 児童アンケートの結果

<質問項目>

①「外国語活動」の時間は、楽しいですか？	87.5 %
②「外国語活動」の時間は、先生や友達とすすんで英語で話していますか？	85.6 %
③英語であいさつをしたり、英語で言ったり、答えたりすることができますか？	91.7 %

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・全部楽しい、またやりたい。
- ・ゲームや劇、カード集め、学校探検やJTEが製作した右左折の指示で動くロボット、オオカミが登場する時刻など、工夫された教材で、児童は楽しく活動できた。
- ・歌や読み聞かせのアクティビティが楽しい。
- ・先生方と英語で会話できた楽しかった。
- ・英語を話せるようになってうれしい・楽しい。
- ・英語の歌を、はじめは難しかったが、わかってきた。
- ・もっと沢山覚えたい。
- ・楽しい授業をありがとう

3 保護者アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、英語の授業を実施することは、英語への関心を高めることに役立っていると思いますか？	93.5 %
②お子さんは、英語の授業を楽しみにしていると思いますか？	84.8 %
③お子さんは、英語であいさつをしたり、英語で言ったり、答えたりすることができますか？	76.1 %

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・英語を教えることは、新しい言語を学ぶだけでなく、西洋諸国の文化を学ぶためにも重要だと私は信じています。
- ・英語教室にも通っています。
- ・小さい頃から楽しく英語を学べる環境は大切だと思います。
- ・I want English lessons add to elementary school grade 1~6 (小学校全学年で英語の授業を増やしてほしいです。)
- ・授業時間をもう少し増やしてもいいかなと思います

- ・ Esta muito bon que aprendan a lingua（言語を学ぶことはとてもよいことです。）
- ・ 今後もこの取り組みを継続してほしいです。
- ・ 出来るだけ多く日常で英語がでてきたらいいのかなぁと思います。

4 教職員アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、英語の授業を実施することは、英語への関心を高めることに役立っていると思いますか？	94.4 %
②児童は、英語の授業を楽しみにしていると思いますか？	100.0 %
③児童は、英語であいさつをしたり、英語で簡単な質問に答えたりすることが出来ますか？	94.4 %

（数値は肯定的な回答の合計割合）

<自由記述>

- ・ JTE と ALT の協働による入念な準備のお陰で、児童は毎回の授業を楽しみにしていると感じた。
- ・ 特例校として JTE が配置されており、1・2年生では JTE、ALT、HRT（専科）の3者によるチームティーチングでの指導を行ってる。それ以外の学年でも JTE、ALT を有効に活用するためにも、JTE や ALT の他の小学校への勤務日を調整できるとよい。
- ・ 楽しみながら英語を聞く力が身につくと思う。
- ・ 教育特例校の指定を町全体としていただいている。通常教育課程を超えたフォニックス指導や文字指導等の内容について町内で差があるように思われるので、小学校4校同一步調で指導できるとよいと考える。
- ・ 1・2年生の年間指導計画は平成17年に作られたもので20年以上経過している。JTE に依頼して、（年間を通して JTE 会議を開催してもらい）、年計の見直しを図る必要があると思う。
- ・ 学校としても、1・2年生を含め校内全体や学年の発達段階に応じて指導の仕方の共通理解が必要と感じた。
（例：めあては英語で、日本語で？ 文の始めは大文字、単語間を空ける、ピリオドなどの記号の扱いなど「書く」指導の方法を統一したい。学習の中で Google 翻訳など AI による翻訳を無制限に使わせよいのか？どこまで制限（活用）させていくのか？）

5 成果と課題

<成果>

- ・ JTE による専門的な立場からの学習活動の展開は、英語活動に欠かせない。経験豊かな JTE を中心とした ALT、HRT の協働による指導により、充実した学習活動が展開されていた。
- ・ 児童は楽しく英語活動に親しむことができ、活動の成就感や意欲・次の活動への期待感を持っている児童が多い。

<課題>

- ・ 指導に関わる HRT（学級担任）が増えたことにより、それぞれの指導者の個性が活かされた指導が展開された反面、校内全体や学年の発達段階に応じて指導の仕方の共通理解をする必要があるため、年度当初に機会を設けていく。
- ・ 配置されている JTE と ALT の専門技能を十分に活用していきたいので、JTE と ALT が他校に協力に行かずに校内で HRT との3者で指導できるよう他校との調整をうまく行う必要がある。
- ・ 低学年の年間指導計画は作られてから大分年月が経過しているので、JTE 会議を開催するなどして改訂の機会を設け、内容をアップデートする必要がある。

6 学校関係者（学校評議員）の評価結果

- ・ ダンスやゲームなどを取り入れ、児童の関心が高まる学習活動となっている。児童が楽しそうにのびのびと学習に取り組んでいた。
- ・ 児童が意欲的に活動し、進んで発声しているところがよい。
- ・ 英語だけでの授業より、ポイントとなる場面で日本語での説明を加えることで理解が深まると言われている。現状のように英語担当、JTE、ALT のチームティーチングが有効であると考ええる。